

友好道場・各流派団体代表者 各位

平成 26 年 4 月 吉日

JKJO 中国主催

第 8 回 JKJO 全日本ジュニア空手道選手権指定大会

第三回全中国空手道選手権大会

出場者募集のご案内

拝啓

初夏の頃、皆様に於かれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また平素より JKJO 中国の活動に対し、ご理解・ご協力頂き誠に有難う御座います。

第三回目となる本大会ですが、これも偏に本大会にご参加・ご協力頂きます、各道場・各流派先生、選手皆様のご尽力の賜物と思えます。

JKJO 中国地区代表として深く御礼申し上げます。

JKJO 中国ではより一層ハイレベルな大会を目指し、公平な審判、スムーズな大会運営を心掛けたいと思っております。

最後に、参加要項等書類一式をお送りしますと同時に大会開催をご案内致します。

多くの選手の出場をお待ち申しあげております。

敬具

全中国空手道選手権大会

主催：JKJO 中国事務局

実行委員長 三宅政弘

送付内容

- ・ 大会案内(本紙)
- ・ 参加要項
- ・ 選手出場申込書
- ・ JKJO ルール説明

第8回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会選抜指定大会

第3回全中国空手道選手権大会

参加要項

開催日 平成26年8月24日(日) 午前10時～試合開始(午前9時～会場受付開始・9時30分～開会式)
場 所 笠岡総合体育館(メインアリーナ) 岡山県笠岡市平成町63-2

開催クラス

出場クラス	上級(選抜)の部		※段・級不問	初級の部(5級以下)
幼年	●幼児男子	●幼児女子		●男女混合
小学1年生	●男子	●女子		●男女混合
小学2年生	●男子	●女子		●男女混合
小学3年生	●男子27kg未満 ●男子27kg以上	●女子		●男女混合
小学4年生	●男子30kg未満 ●男子30kg以上	●女子30kg未満 ●女子30kg以上		●男女混合
小学5年生	●男子35kg未満 ●男子35kg以上	●女子35kg未満 ●女子35kg以上		●男女混合
小学6年生	●男子40kg未満 ●男子40kg以上	●女子40kg未満 ●女子40kg以上		●男女混合
中学生女子	●45kg未満 ●55kg未満 ●55kg以上			●体重無差別
中学生男子	●45kg未満 ●55kg未満 ●65kg未満 ●65以上			●体重無差別
高校生女子	●50kg未満 ●57kg未満 ●57kg以上			●体重無差別
高校生男子	●60kg未満 ●70kg未満 ●70kg以上			●体重無差別
一般女子 (中学生以上)	●体重無差別			●体重無差別
一般男子 (高校生以上)	●軽量級(65kg未満) ●中量級(75kg未満) ●重量級(75kg以上)			
壮年男子 (35歳以上)	●体重無差別			●体重無差別

○選拔出場者数200名以下優勝1名, 201～400名優勝・準優勝2名, 40名以上は優勝・準優勝・3位(2名)の4名の選出となります。

○学年間違いや種目間違いは失格となりますのでご注意ください。

○kg未満クラスは当日計量致します。**体重オーバーは失格**になりますのでご注意ください。

○試合形式 JKJO全日本審判機構・公式ルール(別紙参照)

○参加費 6,000円

○申込先 JKJO中国事務局 千志會 三宅政弘

○〒714-0101 岡山県浅口市寄島町16091-100 TEL0865-54-9003

○申込締切日 平成26年7月18日(金)事務局必着

○申込用紙と参加費は現金書留にて大会事務局宛にお送り下さい。

一旦納入された参加費に関しては、如何なる理由があろうとも返却されませんのでご了承下さい。

○**注意事項** 各種サポーターについて

上級クラス JKJO指定サポーター(詳しくはJKJOホームページでご確認下さい。)

初級クラス **白色サポーター・女子下着は白色とする。**

各種サポーター類に不備がある場合、**失格又は注意1からの試合開始**となりますのでご注意ください。

○参加クラスは、参加人数により変更になる場合がありますのでご了承下さい。

第8回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会・選抜指定大会

第3回全中国空手道選手権大会

出場申込書

開催日 平成26年8月24日(日) 笠岡市総合体育館メインアリーナ 〆切日平成26年7月18日(金)必着
大会事務局 〒714-0101 岡山県浅口市寄島町16091-100
JKJO中国事務局 千志會 三宅政弘 TEL/FAX (0865) 54-9003

JKJO中国事務局 殿

私儀、下記の通り本大会のルールに従い正々堂々と競い合う事を誓います。試合中における事故、
負傷に関し一切の異議申し立てを致しません。

平成26年 月 日

保護者氏名
(印)

フリガナ				男・女	昭和・平成 年 月 日生 (満 才)
氏名				平成20年現在学年	幼児・小学・中学・高校 (年)
住所	〒 - 連絡先 () -				
身長	体重	段・級位		空手歴	
cm	kg	段・級		年 ヶ月	
所属流派	支部		団体責任者名		
出場クラス (○で囲む)	上級(選抜)の部			※段・級不問	初級の部(5級以下)
幼年	●幼児男子		●幼児女子		●男女混合
小学1年生	●男子		●女子		●男女混合
小学2年生	●男子		●女子		●男女混合
小学3年生	●男子27kg未満 ●男子27kg以上		●女子		●男女混合
小学4年生	●男子30kg未満 ●男子30kg以上		●女子30kg未満 ●女子30kg以上		●男女混合
小学5年生	●男子35kg未満 ●男子35kg以上		●女子35kg未満 ●女子35kg以上		●男女混合
小学6年生	●男子40kg未満 ●男子40kg以上		●女子40kg未満 ●女子40kg以上		●男女混合
中学生女子	●45kg未満 ●55kg未満		●55kg以上		●体重無差別
中学生男子	●45kg未満 ●55kg未満		●65kg未満 ●65以上		●体重無差別
高校生女子	●50kg未満 ●57kg未満		●57kg以上		●体重無差別
高校生男子	●60kg未満 ●70kg未満		●70kg以上		●体重無差別
一般女子 (中学生以上)	●体重無差別				●体重無差別
一般男子 (高校生以上)	●軽量級(65kg未満) ●中量級(75kg未満) ●重量級(75kg以上)				
壮年男子 (35歳以上)	●体重無差別				●体重無差別
第7回JKJO全日本jr.大会の代表権を 獲得している 獲得していない (どちらか○で囲って下さい)					
大会入賞歴					

○kg未満クラスは当日計量致します。体重オーバーは失格になります。

○入賞歴を記載する事により、有力(シード)選手扱いとなります。

○参加人数により各クラスを統廃合を行う場合があります。(ご連絡は致しません)○ゼッケンは受付時に団体毎に渡します。

JKJO全日本空手審判機構 試合規約

2012年版JKJOルールブックより抜粋

	試合時間			組 手			サポーター					
	本 戦	延長 *マスト	再延長 *マスト	上段ヒザ	一本 (自滅も同様)	技有り (自滅も同様)	ヘッドガード	拳	スネ 脛	ヒザ 膝	ファール カップ	チェスト ガード
幼 児 小学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	無 (反則)		①完全に宙に浮かせ背中から転倒させた場合、下突きが無くても技有り ②上段にクリーンヒット	○ JKJO指定 主催者用意	○ JKJO指定	○ JKJO指定	○ 3年以上義務 JKJO指定	○	○ 3年以上義務 男子 ×
中学生	1分30秒	1分	1分 決勝のみ	有	打撃で一瞬でもダウン 3秒以上の戦意喪失	③一時的に動きが止まる ④一時的に戦意喪失	○ JKJO指定 主催者用意	○ JKJO指定	○ JKJO指定	○	○	○ 男子 ×
高校生	2分	2分	2分 決勝のみ 再延長	有		⑤下段蹴りで足を引きずる ⑥腹部のダメージで体がくの字になる	○ JKJO指定 主催者用意	○ JKJO指定	○ JKJO指定	○	○	○ 男子 ×
一般女子 シニア	2分	2分	2分 決勝のみ 再延長	有	打撃で3秒以上のダウン	①完全に宙に浮かせ背中から転倒させ タイミング良く下突きを合わせれば技有り	×	×	○	任意	○	○ 男子 ×
一般 男子	2分 準決勝 から3分	2分	2分 準決勝から 再延長	有	3秒以上の戦意喪失	②上段にクリーンヒットがダメージがあれば技有り ③～⑥ジュニアと共通	×	×	×	×	○	×

※2013年より自分のヘッドガードの使用が可能となります(HG19JKヘッドガード)。出場コートのカラー(赤コートでは赤を、白コートでは白のヘッドガード)を着用すること。
※高校生の部のみグローブ使用となります。(主催者用意バンテングローブ:WH-JK2)

反 則

- 掴み、掴んでからの攻撃、掛け、抱え込み
- 掌底押し、正拳押し、相手の体に手・胸を付ける
- 頭突き、頭をつけての攻撃
- 手技による顔面・首への攻撃、膝への関節蹴り
- 下腹部(帯より下、股関節より上)への攻撃
- 背後からの攻撃、倒れた相手への攻撃
- 故意に場外へ出る事、審判が判断した技のかけ逃げ
- 上段膝蹴り(小学生以下は反則、中学生以上は有効)
- その他審判が反則とみなした場合

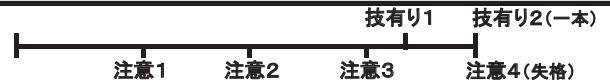
失 格

- 注意4が与えられた場合
- 一度の反則でも相手がドクターストップになった場合
- 試合時間に遅れた時
- 審判員の指示に従わない時
- 試合開始から判定が下されるまでの嘔吐はダメージと見なされ失格とする
- 規定体重を超えていた場合

判定優先順位

一本(失格) > 技有り > ダメージ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性

判定基準図解



注意差の関係

0 < 注意1 < 注意2 < 注意3 > 注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0 > 注意2	注意差2の時は基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
0 > 注意3	注意差3の時はどんなに試合内容でリードしていても技ありを取らない限り負けである
0 > 注意4	注意4になった時点で失格
注意1 > 注意3	注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容では引き分けもある
注意1 > 注意4	注意4になった時点で失格なので相殺されない
注意2 > 注意4	注意4になった時点で失格

注意差と技有の関係

0 < 技有+注意1 < 技有+注意2 < 技有+注意3 > 技有+注意4	注意差1の時は最終延長以外判定に影響しない。注意4になった時点で失格
0 < 技有+注意2	注意差2でも技有りがありなので勝ちである
0 < 技有+注意3	技有りがあるので勝ちだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
0 > 技有+注意4	技有りがあっても注意4になった時点で失格
技有+注意1 > 技有+注意3	注意差が2なので基本的に負けだが、8:2以上の試合内容で引き分けもある
技有+注意1 > 技有+注意4	注意4になった時点で失格
技有+注意2 > 技有+注意4	注意4になった時点で失格

注 意 事 項

- ・センドコーチは2名(空手指導者に限る)までとし、身だしなみは正装とする。センドコーチは相手選手および審判員に対して礼節を欠くような言動はしてはならない。
- ・男子のインナーTシャツは禁止、女子のインナーTシャツは白のみとする。ファールカップはズボンの中に着用すること。
- ・判定後の「雄叫び」「ガッツポーズ」は禁止とする。
- ・判定に対しての抗議は一切受け付けない。